

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年11月14日

【四半期会計期間】 第74期第2四半期(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

【会社名】 株式会社 重松製作所

【英訳名】 SHIGEMATSU WORKS CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 重松 宣雄

【本店の所在の場所】 東京都北区西ヶ原一丁目26番1号

【電話番号】 03-6903-7535(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 坂野 信

【最寄りの連絡場所】 東京都北区西ヶ原一丁目26番1号

【電話番号】 03-6903-7535(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 坂野 信

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第73期 第2四半期累計期間	第74期 第2四半期累計期間	第73期
会計期間		自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高	(千円)	4,491,262	5,036,554	10,747,758
経常利益又は経常損失()	(千円)	186,895	30,915	90,889
当期純利益又は四半期純損失()	(千円)	142,392	32,659	46,757
持分法を適用した場合の投資利益	(千円)	-	-	-
資本金	(千円)	570,000	570,000	570,000
発行済株式総数	(株)	7,200,000	7,200,000	7,200,000
純資産額	(千円)	4,637,235	4,623,539	4,735,643
総資産額	(千円)	11,227,946	11,396,925	11,772,496
1株当たり当期純利益又は四半期純損失()	(円)	20.02	4.59	6.58
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	-	-	-
1株当たり配当額	(円)	-	-	10.00
自己資本比率	(%)	41.3	40.6	40.2
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	254,085	247,112	491,248
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	235,138	436,301	510,988
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	210,994	13,270	31,760
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	(千円)	316,689	367,499	543,417

回次		第73期 第2四半期 会計期間	第74期 第2四半期 会計期間
会計期間		自 2018年7月1日 至 2018年9月30日	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失()	(円)	6.43	3.43

(注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社がないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態

(総資産)

総資産は、前事業年度末に比べて3億75百万円減少し、113億96百万円となりました。

(流動資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて5億89百万円減少し、67億12百万円となりました。

これは、主として受取手形及び売掛金が4億62百万円減少、現金及び預金が1億75百万円減少、電子記録債権が1億65百万円減少、商品及び製品が1億3百万円増加、原材料及び貯蔵品が1億4百万円増加したことなどによるものです。

(固定資産)

固定資産は、前事業年度末に比べて2億14百万円増加し、46億84百万円となりました。

これは、主として有形固定資産が2億9百万円増加したことなどによるものです。

(流動負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて19百万円増加し、50億6百万円となりました。

これは、主として短期借入金が4億円増加、支払手形及び買掛金が1億71百万円増加、電子記録債務が4億77百万円減少、1年内返済予定の長期借入金が65百万円減少したことなどによるものです。

(固定負債)

固定負債は、前事業年度末に比べて2億83百万円減少し、17億66百万円となりました。

これは、主として長期借入金が2億40百万円減少したことなどによるものです。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて1億12百万円減少し、46億23百万円となりました。

これは、主として利益剰余金が1億3百万円減少したことなどによるものです。

この結果、当第2四半期会計期間末の自己資本比率は40.6%となりました。

(2) 経営成績

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、個人消費や企業の設備投資など堅調な内需により回復基調で推移しましたが、米中の貿易摩擦の影響や英国の合意なきEU離脱への懸念などがあり、依然として先行き不透明な状況にあります。

このような事業環境の中、呼吸用保護具全般の受注が期初から堅調に推移したことから、売上高は前年同四半期比で12.1%増の50億36百万円となりました。

一方利益面では、売上増加の影響に加え、生産効率改善による諸経費削減等もあり、売上総利益は前年同四半期比13.4%増の15億2百万円となりました。

また、販売費及び一般管理費は、売上増加に伴う諸経費の増加等から、前年同四半期比2.4%増の15億42百万円となりました。

以上の結果、営業損失は、39百万円（前年同四半期は営業損失1億81百万円）、経常損失は、30百万円（前年同四半期は経常損失1億86百万円）、四半期純損失は、32百万円（前年同四半期は四半期純損失1億42百万円）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前年同四半期末より50百万円増加し、3億67百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2億47百万円(前年同四半期は使用した資金が2億54百万円)となりました。これは主に、売上債権の減少が6億24百万円、仕入債務の減少が3億5百万円、たな卸資産の増加が1億93百万円などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、4億36百万円(前年同四半期は使用した資金が2億35百万円)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が4億円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、13百万円(前年同四半期は得られた資金が2億10百万円)となりました。これは主に、短期借入金の純増額が4億円、長期借入金の返済による支出が3億5百万円、配当金の支払額が71百万円などによるものです。

(4) 研究開発活動

当第2四半期累計期間の研究開発費の総額は1億94百万円であります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	24,000,000
計	24,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	7,200,000	7,200,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株でありま す。
計	7,200,000	7,200,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年9月30日		7,200,000		570,000		272,577

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
エア・ウォーター防災株式会社	兵庫県神戸市西区高塚台 3 2 16	734	10.32
株式会社千代田テクノル	東京都文京区湯島 1 7 12	706	9.93
重松開三郎	埼玉県さいたま市浦和区	280	3.95
シマツ株式会社	愛知県刈谷市神明町 4 418	250	3.52
理研計器株式会社	東京都板橋区小豆沢 2 7 6	246	3.46
藤倉航装株式会社	東京都品川区荏原 2 4 46	133	1.87
重松宣雄	埼玉県さいたま市浦和区	124	1.75
重松製作所従業員持株会	東京都北区西ヶ原 1 26 1	107	1.51
株式会社みずほ銀行 (常任代理人 資産管理サービス 信託銀行株式会社)	東京都千代田区大手町 1 5 5 (東京都中央区晴海 1 8 12 晴海アイラ ンドトリトンスクエアオフィスタワーZ棟)	100	1.41
株式会社三菱UFJ銀行	東京都千代田区丸の内 2 7 1	100	1.41
計	-	2,781	39.11

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 88,600		
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,106,900	71,069	
単元未満株式	普通株式 4,500		
発行済株式総数	7,200,000		
総株主の議決権		71,069	

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権10個)含まれております。

2 単元未満株式数には当社所有の自己株式6株が含まれております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社重松製作所	東京都北区西ヶ原1 - 26 - 1	88,600		88,600	1.23
計		88,600		88,600	1.23

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期財務諸表について、アーク有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

なお、明治アーク監査法人は、2019年7月1日をもって有限責任監査法人に移行したことにより、名称をアーク有限責任監査法人に変更しております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は、子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,353,517	1,177,599
受取手形及び売掛金	2 2,547,746	2,085,471
電子記録債権	429,561	264,461
商品及び製品	1,814,987	1,918,413
仕掛品	481,563	467,743
原材料及び貯蔵品	625,882	730,185
その他	48,559	68,361
貸倒引当金	49	40
流動資産合計	7,301,768	6,712,195
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,330,931	1,380,879
その他	2,124,809	2,284,623
有形固定資産合計	3,455,741	3,665,503
無形固定資産	85,460	105,175
投資その他の資産	929,526	914,051
固定資産合計	4,470,727	4,684,729
資産合計	11,772,496	11,396,925
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2 791,538	963,383
電子記録債務	2 1,908,772	1,431,099
短期借入金	1,200,000	1,600,000
1年内返済予定の長期借入金	550,000	485,000
賞与引当金	148,513	165,693
その他	387,639	361,222
流動負債合計	4,986,463	5,006,398
固定負債		
長期借入金	1,340,000	1,100,000
退職給付引当金	202,760	186,757
その他	507,628	480,230
固定負債合計	2,050,388	1,766,988
負債合計	7,036,852	6,773,386
純資産の部		
株主資本		
資本金	570,000	570,000
資本剰余金	272,577	272,577
利益剰余金	3,431,604	3,327,831
自己株式	56,938	56,938
株主資本合計	4,217,243	4,113,470
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	518,399	510,069
評価・換算差額等合計	518,399	510,069
純資産合計	4,735,643	4,623,539
負債純資産合計	11,772,496	11,396,925

(2) 【四半期損益計算書】

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	4,491,262	5,036,554
売上原価	3,166,705	3,534,391
売上総利益	1,324,557	1,502,162
販売費及び一般管理費	1 1,505,704	1 1,542,013
営業損失()	181,147	39,850
営業外収益		
受取利息	145	128
受取配当金	8,493	9,495
受取ロイヤリティ	17,741	16,712
その他	7,425	7,209
営業外収益合計	33,806	33,545
営業外費用		
支払利息	8,517	7,404
売上割引	12,505	13,833
リース解約損	9,903	-
その他	8,627	3,372
営業外費用合計	39,554	24,610
経常損失()	186,895	30,915
特別損失		
固定資産除却損	10,899	9,108
特別損失合計	10,899	9,108
税引前四半期純損失()	197,794	40,024
法人税、住民税及び事業税	2,900	2,900
法人税等調整額	58,302	10,264
法人税等合計	55,402	7,364
四半期純損失()	142,392	32,659

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失()	197,794	40,024
減価償却費	268,148	228,478
固定資産除却損	10,899	9,108
貸倒引当金の増減額(は減少)	325	8
賞与引当金の増減額(は減少)	3,185	17,180
退職給付引当金の増減額(は減少)	13,535	16,003
受取利息及び受取配当金	8,639	9,624
支払利息	8,517	7,404
手形売却損	3,156	3,127
売上債権の増減額(は増加)	834,472	624,246
たな卸資産の増減額(は増加)	249,450	193,908
仕入債務の増減額(は減少)	812,421	305,828
未払費用の増減額(は減少)	10,580	14,785
その他	56,243	71,725
小計	220,611	237,637
利息及び配当金の受取額	8,631	9,612
利息の支払額	8,506	7,365
法人税等の支払額	33,598	2,891
法人税等の還付額	-	10,120
営業活動によるキャッシュ・フロー	254,085	247,112
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	30,000	-
有形固定資産の取得による支出	254,818	400,834
無形固定資産の取得による支出	11,397	36,769
その他	1,077	1,302
投資活動によるキャッシュ・フロー	235,138	436,301
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	600,000	400,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	27,857	10,615
長期借入金の返済による支出	290,000	305,000
配当金の支払額	71,114	71,113
自己株式の取得による支出	34	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	210,994	13,270
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	278,229	175,917
現金及び現金同等物の期首残高	594,918	543,417
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 316,689	1 367,499

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

1 受取手形割引高

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
受取手形割引高	1,369,481千円	1,121,936千円

2 四半期会計期間末日満期手形及び電子記録債務の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。四半期会計期間末日満期手形及び電子記録債務の金額は、次のとおりであります。

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
受取手形	202千円	千円
支払手形	5,177千円	千円
電子記録債務	208,323千円	千円

(四半期損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
従業員給料及び手当	388,703千円	399,358千円
賞与引当金繰入額	88,885千円	85,134千円
退職給付費用	16,550千円	16,386千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
現金及び預金	1,126,789千円	1,177,599千円
預入期間が3か月を超える 定期預金	810,100千円	810,100千円
現金及び現金同等物	316,689千円	367,499千円

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	71,114	10.00	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	71,113	10.00	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社の事業は、労働安全衛生保護具の製造販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失()及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純損失()	20円02銭	4円59銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失()(千円)	142,392	32,659
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失()(千円)	142,392	32,659
普通株式の期中平均株式数(千株)	7,111	7,111

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月14日

株式会社 重松製作所
取締役会 御中

アーク有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 二階堂 博文 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 徳永 剛 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社重松製作所の2019年4月1日から2020年3月31日までの第74期事業年度の第2四半期会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社重松製作所の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。